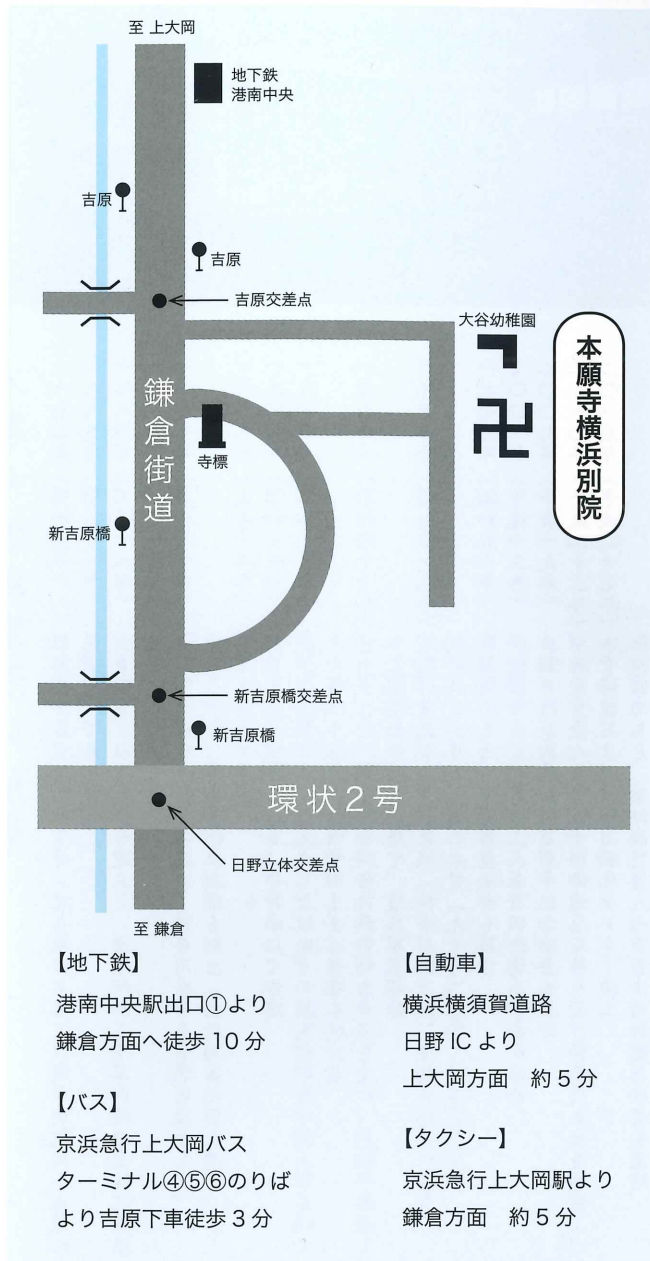


人生を空過させないもの
それはみ仏の教えです



真宗大谷派
本願寺横浜別院



真宗大谷派 本願寺横浜別院

〒234-0051 横浜市港南区日野 1-10-8
TEL.045-841-3434 FAX.045-841-3428
ホームページ <http://www.yokohama-ootani.com/>
メールアドレス yokobetsu@silk.ocn.ne.jp



年中行事	
修正会	一月一日
春季彼岸会	三月下旬
永代経	五月二十八日・二十九日
盂蘭盆会	七月十三日～十五日
秋季彼岸会	九月下旬
報恩講	十月十八日～二十日

毎月九日・十八日・二十八日
ご自由にご参拝くださいます
ようお願ひ申し上げます。

定例法話会





観仏本願力
遇無空過者
能令速満足
功德大宝海

真宗大谷派 本願寺横浜別院
当別院は京都の東本願寺を本山と仰ぐ、真宗大谷派の横浜別院であります。

その起源は、横浜開港間もない一八六六年（慶応二年）八月、本山第二十一代嚴如上人が、当時の武蔵国久良岐郡横浜村に本山二十八日講を組織し、聞法の機会をつくられたことに始まるもので、現在まで約百五十年の歴史があります。

本来別院とは、地方における教化の中心道場であります。この果てしなく混沌する現代社会の只中であって、宗祖親鸞聖人のお示しくだされた御教えを、ひとりでも多くの人に伝えていくべき使命を果たして参りたいと願っております。



本願寺横浜別院の沿革

- 一八七二年（明治五年） 横浜市中区太田町六丁目（現在地の名称）に浅草別院横浜出張所として建立
- 一八八三年（明治十六年） 花咲町一丁目に移転
- 一八八五年（明治十八年） 長者町五丁目に堂宇を建立し、出張所から浅草別院の支院に昇格
- 一八九九年（明治三十二年） 雲井町の大火で類焼
- 一九〇七年（明治四十年） 十二間四面の本堂を再建し、神奈川県下を崇敬区域として、中区長者町に本願寺横浜別院を創立（初代輪番伊藤大忍）
- 一九二三年（大正十二年） 関東大震災で全焼
- 一九四〇年（昭和十五年） 横浜大空襲により、完成したばかりの別院堂宇その他一切を焼失
- 一九四五年（昭和二十年） その後二十五年間は仮堂のままご崇敬を続ける
- 一九七一年（昭和四十六年） 横浜市より、都市総合開発計画の協力要請を受け、別院の興隆と発展を期し移転を決意
- 一九七四年（昭和四十九年） 本山宗議会の議決を経て、復興事業開始
- 別院門徒並びに崇敬区域（神奈川四ヶ組）寺院の協力により、鉄筋コンクリート建の本堂（九十坪）、並びに庫裏が完成
- 御親修のもと、本堂落慶法要を厳修
- 御親修のもと、蓮如上人五百回御遠忌法要を厳修
- 一九七五年（昭和五十年） 本願寺横浜別院創立五十年記念法要を厳修
- 二〇〇一年（平成十三年） 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要を受け神奈川大会を開催（パシフィコ横浜）
- 二〇〇七年（平成十九年） 本堂修復および神奈川教化センター竣工
- 二〇一〇年（平成二十二年） 本堂修復および神奈川教化センター竣工
- 二〇一五年（平成二十七年） 以上、三度に亘る焼失等の苦難を乗り越え、現在に至る。

神奈川教化センター

別院における教化活動の更なる充実を願い、二〇一五年に宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念事業として、別院内に「神奈川教化センター」は誕生しました。

今後、なお一層念仏の輪が広がることを願います。



教化センター



研修室



納骨壇

納骨壇・上大岡墓地

ご門徒の様々な要望に応えるため、本堂後堂に個人納骨壇を設置しました。永代に亘って、読経・管理をさせていただきます。

上大岡墓地（京急上大岡駅すぐ）におきましては、墓地分譲をしております。ご利用を検討される方は、お気軽にご相談ください。



上大岡墓地